



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月12日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス  
コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹

四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日

TEL 0836-37-6585

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	492	58.8	37	—	46	—	31	—
28年5月期第1四半期	310	△11.3	△0	—	0	—	△2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	43.29	43.16
28年5月期第1四半期	△4.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
29年5月期第1四半期	2,263	—	1,375	—	60.7	—	1,887.62	
28年5月期	2,396	—	1,369	—	57.0	—	1,878.49	

(参考)自己資本 29年5月期第1四半期 1,373百万円 28年5月期 1,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,021	17.8	83	3.8	99	1.0	65	6.6	90.03
通期	2,400	13.5	250	19.6	277	15.4	183	11.6	251.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期1Q	727,500 株	28年5月期	727,500 株
② 期末自己株式数	29年5月期1Q	— 株	28年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期1Q	727,500 株	28年5月期1Q	631,708 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づき四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策を背景に、雇用・所得環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国や新興国経済の減速、英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動による影響等のリスクも存在しており、依然として、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、マイナス金利政策により住宅ローン金利の水準が低い状態で推移したこと等により、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向が続いた一方で、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況もみられます。

このような状況の中、当社は、引き続き既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第1四半期累計期間における売上高は492,813千円（前年同期比58.8%増）となり、営業利益は37,430千円（前年同期は456千円の営業損失）、経常利益は46,113千円（前年同期は125千円の経常利益）、四半期純利益は31,494千円（前年同期は2,579千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の受注が増加したため、売上高は482,553千円（前年同期比65.4%増）、セグメント利益は80,274千円（前年同期比126.3%増）となりました。

#### (建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が減少したため、売上高は9,298千円（前年同期比48.9%減）、セグメント損失は3,012千円（前年同期は109千円のセグメント利益）となりました。

#### (その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は961千円（前年同期比124.0%増）、セグメント利益は169千円（前年同期比43.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ132,956千円減少し、2,263,046千円となりました。これは主に、完成工事未収入金の90,497千円の減少、現金及び預金の80,118千円の減少等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ139,601千円減少し、887,401千円となりました。これは主に、工事未払金の135,065千円の減少、未払法人税等の32,906千円の減少、支払手形の82,319千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ6,644千円増加し、1,375,645千円となりました。これは主に、利益剰余金の31,494千円の増加、その他有価証券評価差額金の24,849千円の減少によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日に発表いたしました平成29年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	584,089	503,970
受取手形	96,867	116,309
完成工事未収入金	386,874	296,376
売掛金	15,324	41,600
未成工事支出金	101,201	130,574
仕掛販売用不動産	6,210	6,309
原材料及び貯蔵品	15,401	13,430
その他	27,471	39,279
貸倒引当金	△5,651	△7,803
流動資産合計	1,227,787	1,140,046
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	395,240
その他(純額)	295,549	286,456
有形固定資産合計	690,790	681,696
無形固定資産	1,626	3,247
投資その他の資産		
投資有価証券	326,293	290,538
その他	154,726	151,970
貸倒引当金	△5,221	△4,453
投資その他の資産合計	475,798	438,055
固定資産合計	1,168,215	1,122,999
資産合計	2,396,003	2,263,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	—	82,319
工事未払金	263,944	128,878
買掛金	40,065	44,144
1年内返済予定の長期借入金	88,272	88,272
未払法人税等	48,985	16,078
完成工事補償引当金	58,367	58,276
その他	121,214	98,869
流動負債合計	620,849	516,840
固定負債		
長期借入金	316,360	294,292
資産除去債務	5,802	5,805
その他	83,990	70,463
固定負債合計	406,152	370,561
負債合計	1,027,002	887,401

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	606,455	637,950
株主資本合計	1,285,551	1,317,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,049	56,199
評価・換算差額等合計	81,049	56,199
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,369,000	1,375,645
負債純資産合計	2,396,003	2,263,046

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	310,331	492,813
売上原価	209,963	326,987
売上総利益	100,367	165,826
販売費及び一般管理費	100,824	128,395
営業利益又は営業損失(△)	△456	37,430
営業外収益		
不動産賃貸収入	1,091	1,018
有価証券利息	4,117	2,910
売電収入	9,209	11,483
その他	459	3,864
営業外収益合計	14,877	19,275
営業外費用		
支払利息	890	651
売電費用	336	500
減価償却費	4,760	6,495
貸倒引当金繰入額	—	677
株式交付費	8,153	—
その他	155	2,267
営業外費用合計	14,295	10,592
経常利益	125	46,113
税引前四半期純利益	125	46,113
法人税、住民税及び事業税	798	13,819
法人税等調整額	1,906	799
法人税等合計	2,704	14,618
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,579	31,494



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年8月12日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式処分を実施しました。この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が150,152千円、資本準備金が150,152千円、その他資本剰余金が28,136千円それぞれ増加、自己株式が11,904千円減少し、当第1四半期累計期間において資本金が335,164千円、資本剰余金が343,931千円となっております。

当第1四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	291,711	18,190	309,901	429	310,331
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	291,711	18,190	309,901	429	310,331
セグメント利益	35,465	109	35,575	118	35,693

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	35,575
「その他」の区分の利益	118
全社費用(注)	△36,150
四半期損益計算書の営業損失(△)	△456

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期累計期間(自平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	482,553	9,298	491,852	961	492,813
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	482,553	9,298	491,852	961	492,813
セグメント利益又は損失	80,274	△3,012	77,261	169	77,431

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	77,261
「その他」の区分の利益	169
全社費用(注)	△40,001
四半期損益計算書の営業利益	37,430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。